

富山県新湊市

市内遺跡試掘調査概要

新湊市本江足洗東部土地地区画整理事業に伴う本江東遺跡試掘調査

1999年度

2000年3月

新湊市教育委員会

富山県新湊市

市内遺跡試掘調査概要

新湊市本江足洗東部土地区画整理事業に伴う本江東遺跡試掘調査

1999年度

2000年3月

新湊市教育委員会

例　　言

- 1 本書は、富山県新湊市本江地内に所在する、平成11年度本江東遺跡（203054:県遺跡番号）の試掘調査概要報告書である。
- 2 調査の内容は、本江足洗東部土地区画整理事業に係る試掘調査であり、新湊市教育委員会が主体となり実施した。調査に当たっては、富山県埋蔵文化財センターから調査担当者の派遣を受け指導と協力を得た。また、調査費用は新湊市教育委員会が開庫補助金・県費補助金の交付を受けた。
- 3 調査事務所は新湊市教育委員会社会教育課に置き、社会教育課長 大代政幸が調査事務を統括した。また、調査に当たっては、富山県埋蔵文化財センターをはじめ本江足洗東部土地区画整理組合、㈳新湊市シルバーハウスセンター、北海工業株式会社、原建設株式会社の協力を得た。
- 4 試掘調査担当者は次のとおりである。
- 第1次試掘調査 新湊市教育委員会 文化財保護主事 宗 麗子
富山県埋蔵文化財センター 主 任 岡本淳一郎
- 第2次試掘調査 新湊市教育委員会 文化財保護主事 宗 麗子
- 5 調査参加者は下記のとおりである。
- (現地調査) (敬省略 五十音順)
浦上澄子 海老松悦也 木谷 宏 寺井 武 矢野秀雄 (第1次試掘調査：㈳新湊市シルバーハウスセンター)
石村むつみ 石葉須磨子 東沢舞子 我田君子 (第2次試掘調査)
- 6 本書の作成は、下記の協力をうけて宗が行った。
- (室内整理) (敬省略 五十音順)
浦山みこと 楠井悦子 立野浩美 前田三津子
- 7 調査の実施から本書の作成にあたっては、下記の方々から貴重なご教示・ご指導をいただいた。記して謝意を表したい。(敬省略 順不同)
安念幹則 池田恵子 山本正敏 久々忠義 岡本淳一郎 境 洋子 高嶋幸子
- 8 本書の土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄編著1994『新版標準土色帖』に準拠している。
- 9 出土品及び、記録図面等は新湊市教育委員会が一括して保存・公開している。
- 10 本書の図面の表示は下記のとおりである。
- (1) 遺物実測中のスクリーントーンの貼り込みは次のとおり表現した。
須忠窓 ■■■ 珠洲焼 ■■■

目　　次

例　　言	
目　　次	
I はじめに···	1
1 遺跡の位置と環境···	1
2 調査に至る経緯と経過···	2
(1) 遺跡の発見···	2
(2) 分布調査···	2
(3) 試掘調査···	3
II 調査の概要···	4
1 調査の方法···	4
2 調査の概要···	4
(1) 調査の結果···	4
(2) まとめにかえて···	5

図面

- 第1図 新湊市位置図
第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (1/50,000)
第3図 調査区域図 (1/5,000)
第4図 試掘調査結果概要図 (1/1,500)
第5図 出土遺物図(1) (1/3)
第6図 出土遺物図(2) (1/3)
第7図 出土遺物図(3) (1/3)
第8図 出土遺物図(4) (1/3)

表

- 表1 試掘トレンチ一覧表(1)
表2 試掘トレンチ一覧表(2)
表3 試掘トレンチ一覧表(3)
表4 遺物観察表(1)
表5 遺物観察表(2)

写真図版

I はじめに

1 遺跡の位置と環境

本江東遺跡は、新潟市本江に所在する。

遺跡は般治川の右岸、神通川の左岸に位置し、砂質土と粘質土からなる沖積低地に立地する。標高は高いところで約1.5m、低いところで約0.9mである。現在、遺跡の西側は新潟市足洗、南側は同市本江、東側は富山市打出と接しており、北方約50mのところに海岸汀線がある。

現在富山新港と姿をかえたかつての放生津潟は、中世にはかなり東方へ広がっていたが、近世初頭から新開が進められた。その結果、近世中頃放生津潟の東方に残された潟がかかつての足洗潟となった。潟地先の富山湾では、網漁がさかんであったという。第1図 新潟市位置図
本江東遺跡は、その東側に位置する。

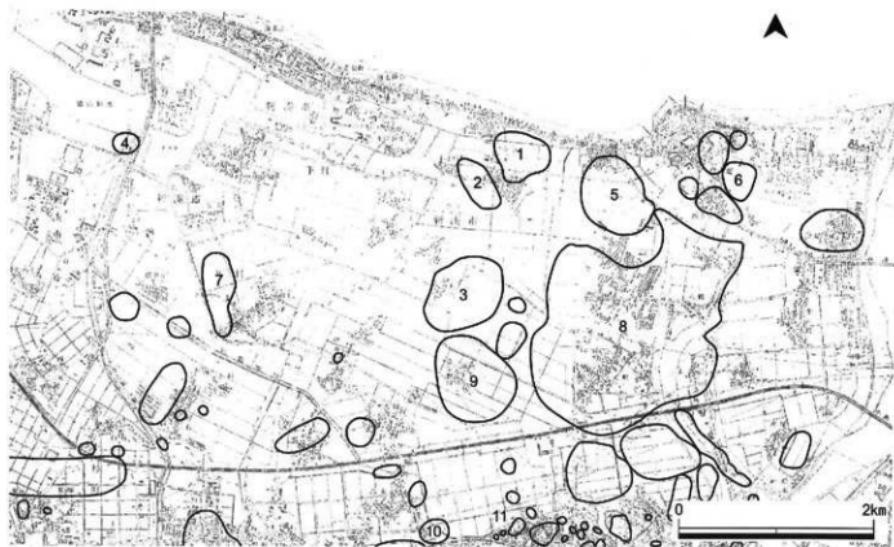
周辺の遺跡をみると、弥生時代から古墳時代の遺跡では、南方約1.5kmの富山市との境界のところに、古墳時代前期の利波遺跡がある〔岡崎1964〕。また、すぐ南に位置する本江遺跡では、当該期の土器が採集されている。

古代の遺跡は、本江遺跡で上御器や須恵器が採集されているが、実態は明らかになっていない。

中世の遺跡は、新潟市域においては、やはりこれまでのところ周辺で確認された遺跡はないが、東側の富山市では、四方荒谷遺跡で掘立柱建物跡などが確認されているほか、一帯の各遺跡で中世陶磁器が採集されている〔富山市教委1999〕。



第1図 新潟市位置図



第2図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (1/50,000) 1 本江東遺跡 2 本江遺跡 3 利波遺跡 4 下久々江遺跡 5 打出遺跡
6 四方荒原遺跡 7 下村加茂遺跡 8 今市遺跡 9 野田遺跡

2 調査に至る経緯と経過

(1) 遺跡の発見

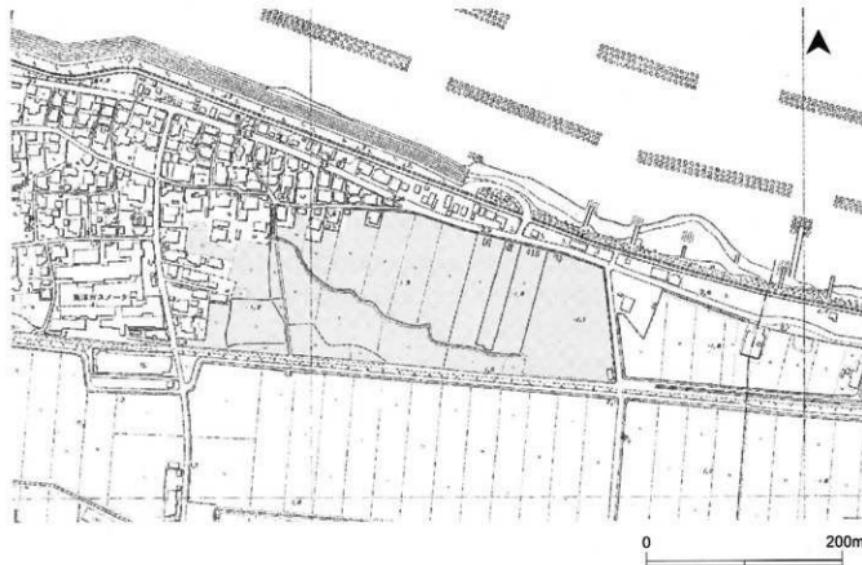
本江東遺跡は、土地区画整理事業による新湊市足洗東部土地区画整理事業（以下「土地区画整理事業」とする）などに伴い実施された分布調査によって、新たに発見された遺跡である。

新湊市教育委員会が事業計画を把握したのは、平成9年度に府内各関係課に対して行った、平成10年度以降の開発事業計画照会を機とする。当時、土地区画整理事業予定地内には周知の埋蔵文化財包蔵地（以下「遺跡」とする）は知られていなかった。しかし本江地区では、それまでに系統だった分布調査を行った経緯がないこと、また周辺には南側に弥生・古墳時代の遺跡として知られる利波遺跡があり、また東には富山市打出遺跡もあることなどから、事前に分布調査を実施する必要があると考えられた。

新湊市では日下、国庫補助を受けて市内の詳細分布調査事業をすすめているが、当初の区割り予定では、本江地区が対象となるのは平成12年度の予定であった。しかし、組合による土地区画整理事業の性格上、早急に対応する必要があり、詳細分布調査に先立ち分布調査を実施することとなった。

(2) 分布調査

本江地区的分布調査は、平成10年3月29日、同年5月24日、同年6月7日、同年6月28日の4回に分けて実施した。調査は新湊考古歴史サークルの諸志によって行われた。



第3図 調査区域図 (1/5,000)

その結果、土地区画整理事業予定地区を含む、富山市打出と新湊市本江東との境界付近中心において、弥生時代から近世にかけての遺物が多く採集された（本江東遺跡）。さらに、周辺にも範囲を広げて踏査した結果、その南東においては弥生時代から古代にかけての遺物の散布が認められ（本江遺跡）、新たに2つの遺跡を発見するに至った。

発見された遺跡は、平成10年度に教育委員会の指定をうけて県に報告され、周知されることとなった。

その調査結果をうけて、新湊市教育委員会と富山県文化財課、市の担当課である新湊市都市開発課と協議を行い、土地区画整理事業の約5.6haを対象に、国庫補助金をうけて試掘調査を行うこととなった。

(3) 試掘調査

試掘調査の実施にあたっては、富山県文化財課、新湊市都市開発課と協議を行った。工事着手時期が平成11年度中に予定されていたため、急きょ富山県埋蔵文化財センター職員の派遣を依頼し調査を行うこととなった。

(第1次試掘調査)

試掘調査は平成11年6月8日から6月25日にかけて実施した。

試掘調査の結果、包含層は削平されて残っていないが、調査区ほぼ全域に古墳時代から近世にかけての遺物あるいは遺構を確認した。7月16日に、調査結果を地元に説明するとともに、「富山県発掘調査基準」（平成11年4月1日施行）を基に、県文化財課、同埋蔵文化財センター、土地区画整理事業組合及び新湊市都市開発課と、今後の取り扱いについて協議を重ねた。農地減反の絡みもあり工事着手の時期が間近に迫っていることから協議は難行したが、8月25日、下記のとおり合意した。

- ・土地区画整理事業区域内における本江東遺跡の面積は約48,000m²である。
- ・遺跡範囲内における開発行為の取り扱いを「富山県発掘調査等対応基準」（平成11年4月1日施行）に照準し協議した結果、道路基準構造令に基づく道路造成予定部分について保護措置が必要と考えられた。その面積は約6,280m²である。
- ・しかしこの段階において工事の計画変更は難しく、開発をすすめるにあたっては、事前に本調査が必要であると判断した。
- ・ただし、上記の本調査対象部分の中でも、遺構・遺物の分布密度が濃い部分と希薄な部分がある。
- ・時間的な制約もあることから、希薄な部分については、さらに遺跡の内容を確認するための詳細な確認調査を行い、本調査の範囲をしづら込むこととする。

(第2次試掘調査)

上記により第2次試掘調査を平成11年9月6日から9月22日にかけて実施した。

その結果、道路造成予定部分のうち約700m²において、古代の遺構・遺物が集中して確認されたため、その地区的取り扱いについて再度協議を行った。

II 調査の概要

1 調査の方法

調査は任意に試掘トレンチを設け、遺構・遺物の有無や土層を確認した。

トレンチはバックホウにより、土層を確認しながら徐々に掘り下げ、その後人力により床面、壁面を削り精査し、遺構及び遺物の有無を確認した。

第1次試掘調査における基準点設置及び水準測量、トレンチ平面位置測量、標高基準面設定について、業者に委託した。土層断面、遺構、遺物出土地点については手測により図面を作成し、記録写真を撮影した。

第2次試掘調査では、トレンチ平面位置、土層断面については略測により図面を作成した。また、必要に応じて平板測量を行なった。

調査地では地下水の湧水が苦しく、常時水中ポンプを稼働するとともに、記録作業が終わり次第、重機により埋め戻しを行った。

2 調査の概要

(1) 調査結果

調査区の現況は主に水田であるが、東側の一部には網干し場があり、漁業施設として利用されている。従って、試掘調査対象面積は、網干し場約1万m²を除いた、約4.5万m²である。標高は、調査区の中央から東にかけては約1.4mである。調査区中央を北西—南東に流路が蛇行して流れているが、その南西にかけてだんだん低くなり、最も低いところは西端の約1.0mである。

第1次試掘調査では1~63トレンチまで試掘を任意に設定した。第2次試掘調査では、道路造成予定部分に合わせて、101~118トレンチまで設定した。

基本層序は1層耕作土、2層黒褐色砂（水田床上）、3層黒褐色シルト質ローム、4層オリーブ灰色粘土質ローム、5層黒色粘土質ローム、6層オリーブ粘土、7層灰色砂質ロームである。4層は古代の遺構検出面である。

古墳時代初期の遺物は、主に調査区の東端にある、両網干し場の間の地区から出土している。その中でも、当該期の土師器が出土するトレンチは、北側に集中している。この一帯では、基本上層の3層は堆積せず、遺物は主に2層直下4層直上において確認された。これらの遺物が出土するトレンチでは、2層から掘り込む黒褐色砂上の溝も検出されているが、溝からは近世の遺物も出土しているため、近世以降の遺構と捉えた。従って、この時期の遺物は、遺構を伴ったかたちでは確認できていないが、調査区の北東にかけて広がることが推測される。

古代の遺物は、流路の北側で、主に調査区の中央部から西側にかけて出土する。特に、遺構に伴った状態で遺物が出土しているのは、43トレンチ、44トレンチより西側、流路から東側の地区である。遺構は、耕作土

直下の非常に浅いところで検出される。一帯では2層は堆積しておらず、上部は削平されているとみられる。

中世の遺物は、調査区のほぼ全域から出土している。現在の国道415号線沿いに、東西に谷が入り込むとみられ、53トレンチの北側部分から、五輪塔など中世以降の遺物が出土している。中世の遺物は、遺構に伴うかたちでは出土していない。

近世の遺物は、調査区のほぼ全体において出土する。唐津焼碗の高台外面に「打出本江」と墨書きされるものもある。

(2) まとめにかえて

上記の調査結果を要約してまとめにかえたい。

今回の調査対象区域内における本江東遺跡の面積は約48,000m²である。

出土遺物からわかる遺跡の所属時期は大きく分けて①古墳時代初期（3世紀中頃）②古代（奈良時代後半～平安時代：8世紀後半～9世紀中頃）③中世（鎌倉～南北朝・室町～戦国：13世紀～14世紀・15世紀～16世紀）④近世以降の4期がある。

各時代の遺物が出土する範囲については、次のような傾向がみられる。

①の古墳時代の遺物は、調査区北東端、両側干し場の間の地区にまとまってみられた。当該期の遺跡は、調査区よりさらに北および東側に広がるようである。

②の古代の遺物は特に調査区北西において、遺構に伴ってまとまって確認された。調査区内におけるその面積は、約3,000m²と推測される。古代の遺跡と古墳時代の遺跡との間には連続性はみられないようである。

③の中世および、④の近世の遺物の出土状況は、それまでの時代がある程度まとまった範囲をもって確認されたとの様相をかえ、広く分散的になる。

また調査では、蛇行する流路の南西部分については、攪乱されているところもあり、遺跡は広がらないことがわかった。

【引用・参考文献】

岡崎卯一1964「利波土師遺跡の調査」『放生津潟周辺の地学的研究第3集』富山地学会編

坂井誠一ほか1979『角川日本地名大辞典16 富山県』角川書店

新湊市1992『新湊市史 近現代』

新湊の歴史編さん委員会1997『しんみなどの歴史』

田嶋明人1996「北陸の3世紀中葉～4世紀初頭の土器(第1様式)」『日本土器辞典』雄山閣

富山県1972『富山県史 考古編』

富山市教育委員会1999『富山市四方荒屋遺跡発掘調査概要』

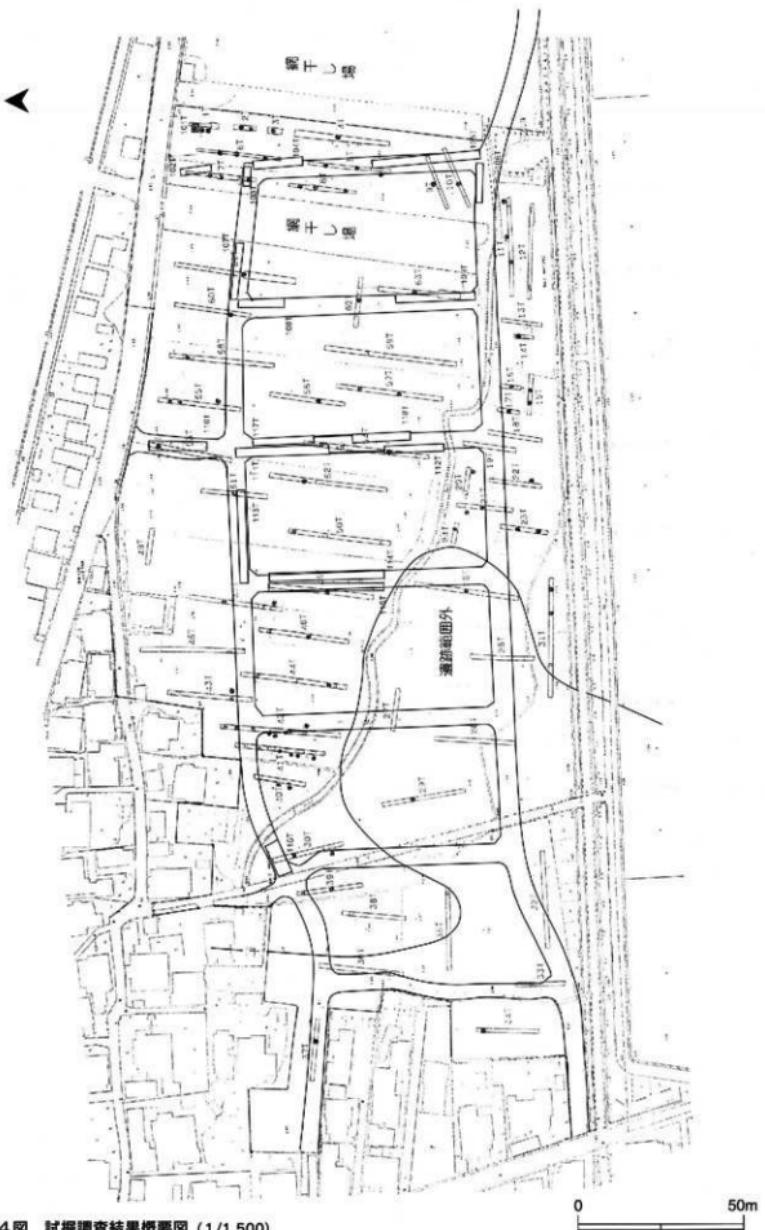
富山县埋蔵文化財センター1993『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告(3)吉倉A遺跡』

任海遺跡・吉倉A遺跡・吉倉B遺跡』

富山県埋蔵文化財センター1994『富山県総合運動公園内遺跡発掘調査報告書(4)吉倉B遺跡』

古岡康暢1989『珠洲の名陶』珠洲市珠洲焼資料館

吉岡弘文館1994『中世須恵器の研究』吉岡弘文館



第4図 試掘調査結果概要図 (1/1,500)

トレチ 番 号	トレチ 番 号	遺 構	遺 物				備 考
			古 墳 代	古 代	中 世	近 世 以 降	
1T	9.7	溝	土師器				土鉢
2T	6.9		土師器(甕・壺等)				
3T	4.5						土師器片
4T	33.0	溝?	土師器(丹波蓋等)				土鉢
5T	29.2	溝	土師器(高杯等)			越中瀬戸	土鉢
6T	29.7		土師器(壺等)		珠洲焼	肥前磁器	
7T	24.2	溝	土師器		珠洲焼	肥前磁器	
8T	23.8	溝	土師器片			近世陶器	土鉢
9T	19.4	溝			珠洲焼		
10T	22.7	溝			珠洲焼		
11T	34.5	溝			珠洲焼 青磁		
12T	33.0	溝・土坑					
13T	14.5	溝					土師器片
14T	6.7	溝	須恵器				
15T	15.0				珠洲焼	越中瀬戸	土師器片
16T	7.5						土師器片
17T	8.0	溝?					土師器片
18T	19.6						
19T	19.6						
20T	10.7	溝					土師器片
21T	21.0	溝・土坑			珠洲焼		
22T	20.0	溝					土師器片
23T	16.7	溝			珠洲焼 中世土師器		谷あり
24T	7.2		須恵器(杯)				
25T	37.2	溝				肥前磁器	土師器片 谷あり
26T	23.5						谷あり
27T	15.2						
28T	28.5						
29T	29.5		土師器				谷あり
30T	25.0	溝	須恵器(格付)土葬器 土鉢 珠洲焼 土鉢				
31T	41.9	溝				越中瀬戸	土師器片
32T	33.9						
33T	17.6	溝					
34T	22.2					貨幣(寛永通宝)	
35T	28.4	溝	土師器				
36T	29.8						谷あり
37T	21.6		須恵器 土師器			越中瀬戸	
38T	22.6	溝					
39T	23.4				珠洲焼	近世陶器	土師器片
40T	18.6	溝 土坑 ピット	土師器 須恵器 土鉢				
41T	31.5	溝 土坑 ピット	土師器 須恵器 土鉢 珠洲焼				
42T	42.2	溝・土坑	土師器 須恵器				

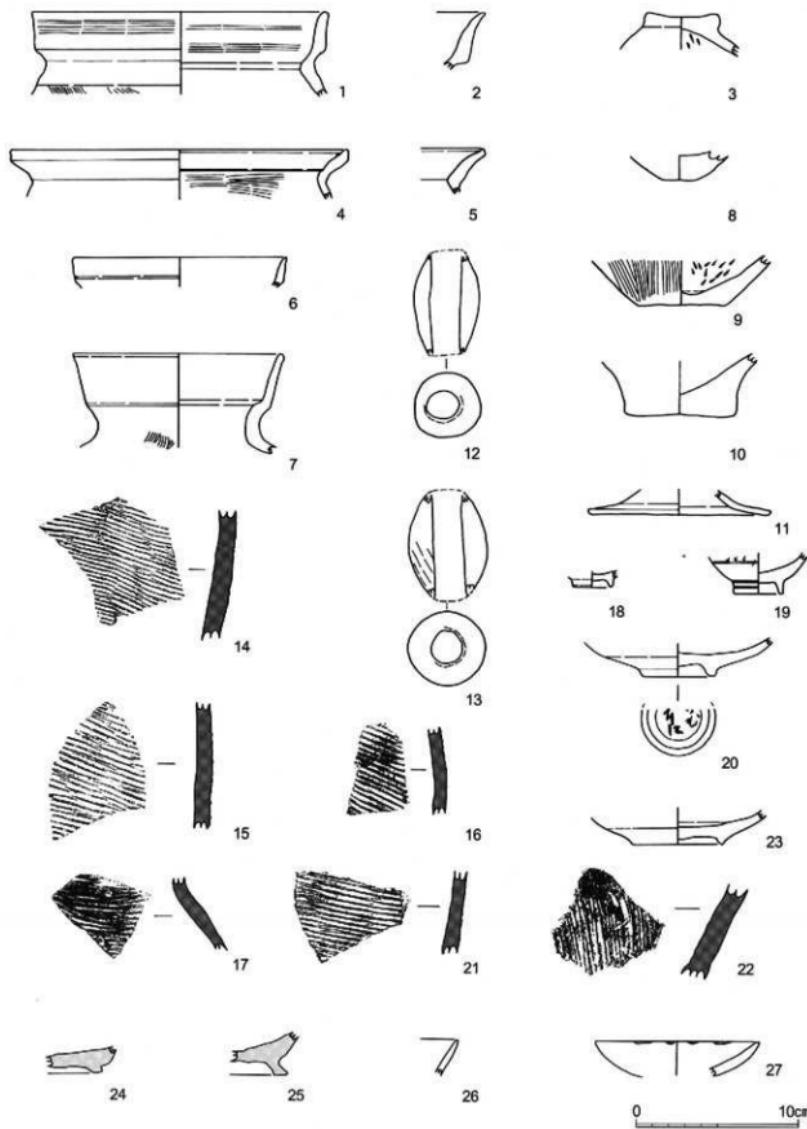
表1 試掘トレチ一覧表(1)

トレチ 番号	トレチ 番号 延長(m)	遺構	遺物					備考
			古墳時代	古代	中世	近世以降	駆が不明なもの	
43T	29.5	溝		土鍤				
44T	37.2	溝		土師器				
45T	36.7	土坑		須恵器	中世土師器 土鍤			谷あり
46T	31.5	溝						
47T	32.6	溝		土師器	珠洲焼 土師器			
48T	35.0	溝		土師器	珠洲焼			
49T	11.6							谷あり
50T	36.0	溝		土師器	珠洲焼			
51T	23.2	溝		土師器	珠洲焼	瀬戸美濃 肥前磁器		
52T	41.5	溝 ピット		須恵器 土師器				
53T	29.8	溝		須恵器 土師器	五輪塔水輪	瀬戸美濃		谷あり
54T	45.5	溝		土師器		近世陶磁器		
55T	29.0	溝			土鍤			谷あり
56T	26.0	溝					土師器片	
57T	37.5	溝		土師器 須恵器 上縁	珠洲焼(すり鉢等)			
58T	36.7	溝 土坑		土師器				谷あり
59T	46.7	溝						
60T	26.2	溝					土師器片	
61T	44.0	溝			珠洲焼	越中瀬戸 肥前磁器 土師器片		
62T	17.1	溝			珠洲焼片	越中瀬戸 肥前磁器 土師器片		
63T	29.0	溝		須恵器 土師器 上縁		越中瀬戸		

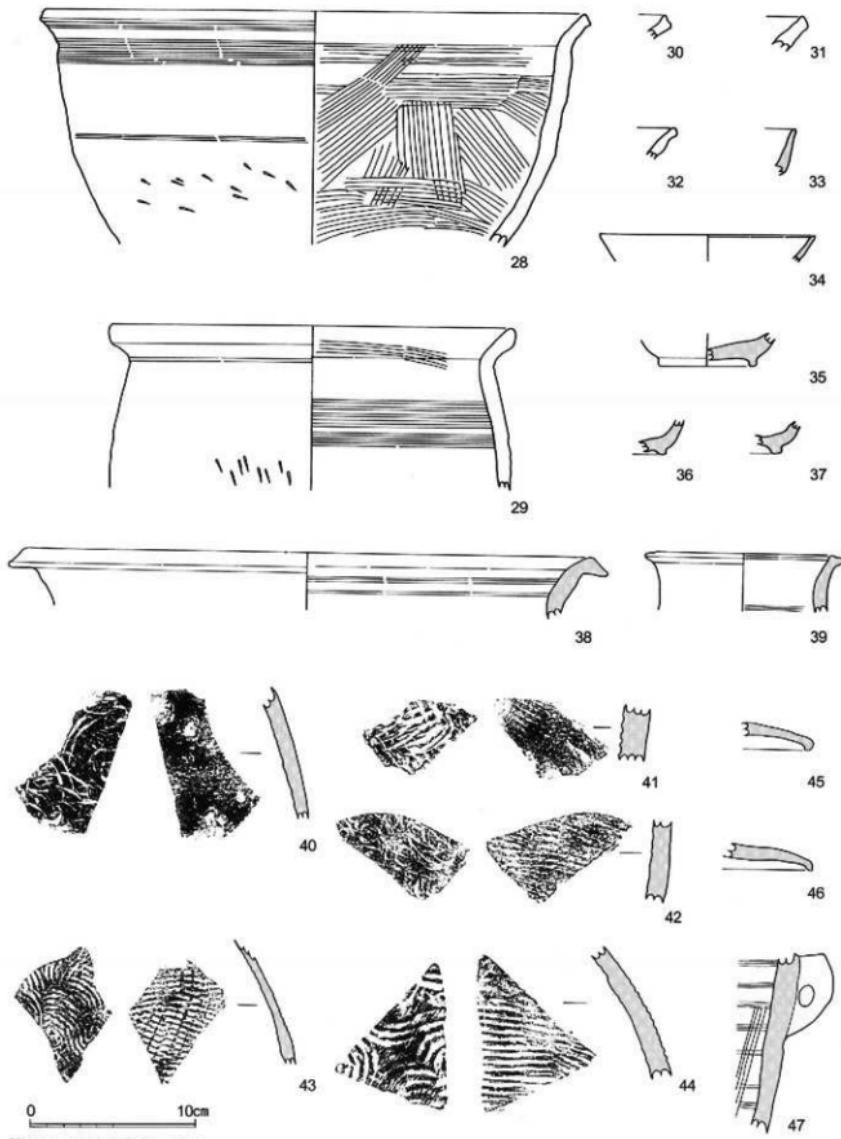
表2 試掘トレチ一覧表(1)

トレチ 番号	トレチ 番号 延長(m)	遺構	遺物					備考
			古墳時代	古代	中世	近世以降	駆が不明なもの	
101T	2.0		土師器					
102T	11.5							
103T	7.0	溝	土師器			唐津	土師器片	
104T	17.5							
105T	37.0	旧河跡か	土師器			肥前磁器		
106T	12.0	山河跡か						
107T	20.0			珠洲焼				
108T	16.5							
109T	28.5			珠洲焼		越中瀬戸	土師器片	
110T	20.5		土師器 須恵器上縁					
111T	33.5		土師器 須恵器		中世土師器			
112T	21.0			珠洲焼				
113T	33.0		須恵器 土鍤	珠洲焼				
114T	41.0	溝	須恵器	珠洲焼		越中瀬戸		
115T	40.0	溝	土師器 須恵器上縁	珠洲焼		越中瀬戸		
116T	12.0		土師器 須恵器土鍤	珠洲焼			複数	
117T	26.0		土師器 須恵器	珠洲焼		越中瀬戸 伊万里		
118T	22.5							

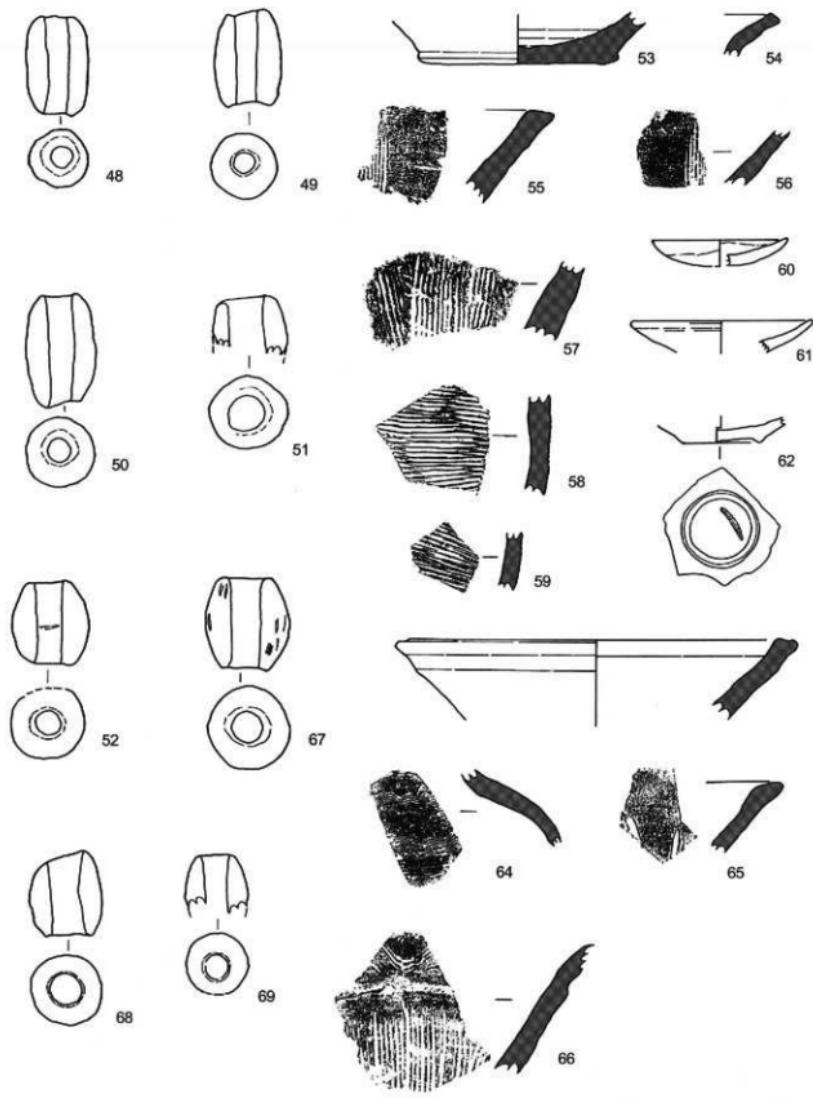
表3 試掘トレチ一覧表(3)



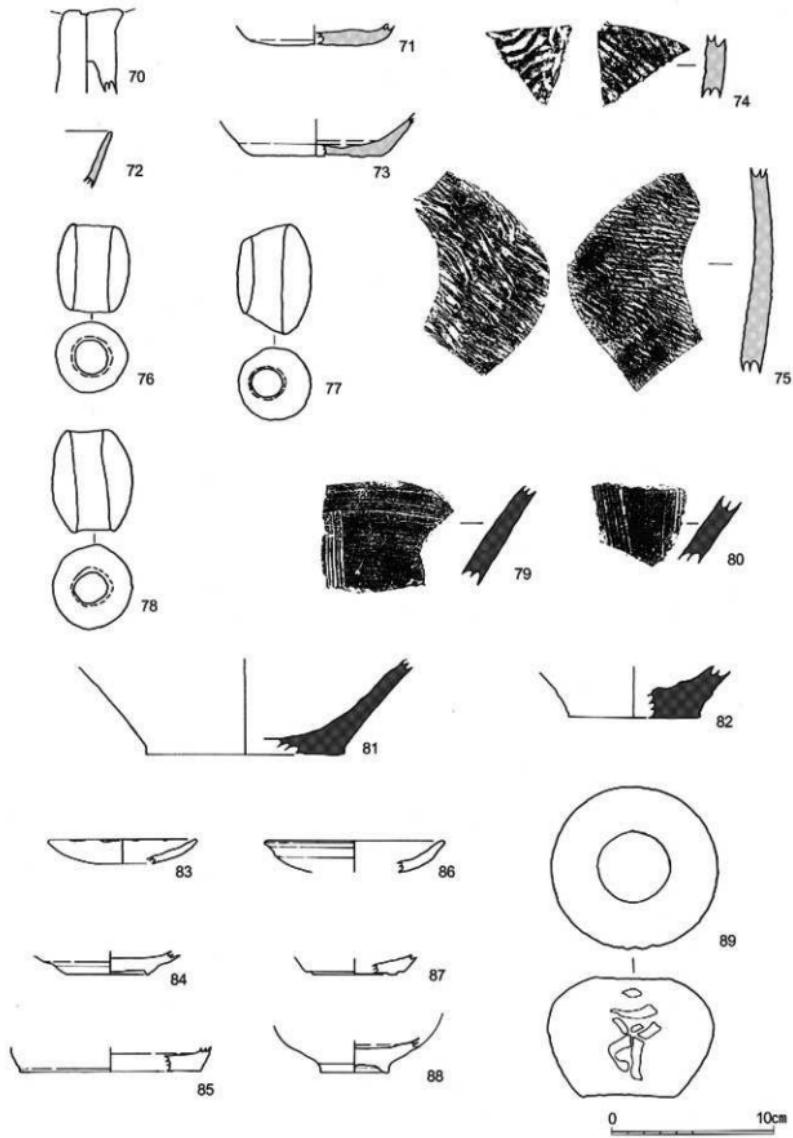
第5図 出土遺物(1) (1/3)



第6図 出土遺物(2) (1/3)



第7図 出土遺物(3) (1/3)



第8図 出土遺物(4) (1/3)

番号	種類	器種	口径 長径	底径 短径	器高 孔径	重量	特徴	寸引	時期	備考	
1	土師器	壺	180				有段口縁擬凹線	2T	古府クルビ式		
2	土師器	壺		42			有段口縁擬凹線 口縁部が外反し端部を外へ伸ばす	2T	"		
3	土師器	蓋					内外面赤彩	4T	"		
4	土師器	壺	206				くの字状口縁口縁端部平縁	2T	"		
5	土師器	壺					くの字状口縁口縁端部平縁	2T	"		
6	土師器	壺	130				短い有段口縁	2T	"		
7	土師器	壺	128				有段口縁	105T	"		
8	土師器	小型壺	20				平底	1T	"		
9	土師器	壺	74				礫多く粗い胎土	2T	"		
10	土師器	壺	66				平底	6T	"		
11	土師器	高杯	110				脚端部平縁	2T	"		
12	土鍾	-	38	9				1T	8-9世紀		
13	土鍾	-		48	10			4T	"		
14	珠洲	壺か壺					叩き条数12条/3cm	6T	14世紀		
15	珠洲	壺か壺					叩き条数10条/3cm	6T	"		
16	珠洲	壺か甌					叩き条数10条/3cm 海綿骨針多い	6T	"		
17	珠洲	壺						10T	"		
18	肥前磁器	小碗	24				内底面透明灰緑色釉	105T	江戸		
19	伊万里	碗	30					7T	"		
20	唐津	碗	44				外底面墨書「打出本江」か 蛇目輪剥ぎ	103T	"		
21	珠洲	壺か甌					叩き条数10条/3cm	15T	14世紀		
22	珠洲	すり鉢							11T	16世紀	
23	越中瀬戸	皿	54				鉄軸	15T	江戸		
24	須恵器	台杯							24T	9世紀	
25	須恵器	壺							14T	8世紀	
26	青磁	碗					同安窯系か	11T	14世紀		
27	土師質上器	灯明皿	10						23T	16世紀	
28	土師器	鏡	126				外面煤付着 内面ハケメ、カキメ	42T	8世紀後半		
29	土師器	長胴甌	240					42T	"		
30	土師器	小甌						42T	"		
31	土師器	長胴甌						42T	"		
32	土師器	小甌						42T	"		
33	須恵器	杯						115T	"		
34	須恵器	杯						42T	9世紀		
35	須恵器	台杯	58					30T	"		
36	須恵器	台杯						40T	"		
37	須恵器	台杯						42T	"		
38	須恵器	壺	358					115T	8世紀		
39	須恵器	壺	120					114T	"		
40	須恵器	壺					外面蒸灰釉内面同心円文	40T	9世紀		
41	須恵器	甌					外面平行叩口内面同心円文	115T	"		
42	須恵器	甌					外面平行叩口内面同心円文	116T	"		
43	須恵器	甌か					外面平行叩口内面同心円文	42T	8世紀		
44	須恵器	甌					外面平行叩口内面同心円文	42T	"		
45	須恵器	杯蓋					端部三角形 少し丸まる	116T	"		

表4 本江東遺跡試掘調査遺物一覧表(1)

番号	種類	器種	口径	底径	器高	重量	特徴	社名	時期	備考
			長径	短径	孔径					
46	須恵器	杯蓋					天井部外面ヘラケズリ 端部三角形 内面カキメのちヘラケズリ	42T	8世紀	
47	須恵器	双耳瓶						116T	"	
48	土錐	-	60	37	13	73		41T	"	
49	土錐	-	61	40	13	100	遺存11/12	116T	"	
50	土錐	-	68	47	13	110		43T	"	
51	土錐	-				22		116T	"	
52	土錐	-	50	46	16	80	遺存10/12	115T	8-9世紀か	
53	珠洲	壺				12	底部静止糸切り痕	41T	4世紀か	
54	珠洲	壺						115T	14世紀	
55	珠洲	すり鉢					節目間隔あり	115T	"	
56	珠洲	すり鉢					節目密	115T	"	
57	珠洲	すり鉢					節目間隔あり	30T	"	
58	珠洲	壺か甕					叩き条数11条/3cm	116T	"	
59	珠洲	壺か甕					叩き条数14条/3cm	114T	"	
60	土師質土器	灯明皿	82	24	17			45T	16世紀	
61	越中瀬戸	皿	11				灰釉	115T	17世紀	
62	越中瀬戸	皿		56			削り出し高台 外底面墨書きあり	114T	"	
63	珠洲	すり鉢	257				口縁端面ほぼ水平	113T	14世紀後半	
64	珠洲	壺					肩部横目波状文	51T	13世紀	
65	珠洲	すり鉢					口縁内端面が外方へ伸びる	50T	15世紀後半	
66	珠洲	すり鉢					口縁内端面横目波状文 脊目原体粗大	51T	16世紀	
67	土錐	-	51	49	18	117		55T	8-9世紀か	
68	土錐	-	51	43	20	70		57T	"	
69	土錐	-				19		55T	"	
70	上野瀬戸	高杯						57T	秀生美濃丹波式か	
71	須恵器	杯						113T	8世紀	
72	須恵器	杯						111T	"	
73	須恵器	杯				78		52T	"	
74	須恵器	甕					外面平行叩印内面同心円文	110T	8世紀後半	
75	須恵器	甕					内外面平行叩印	57T	9世紀前半	
76	土錐	-	53	43	20	65		113T	8-9世紀	
77	土錐	-	64	43	19	101		110T	"	
78	土錐	-	61	48	20	111		63T	"	
79	珠洲	すり鉢						112T	14世紀	
80	珠洲	すり鉢						57T	"	
81	珠洲	すり鉢か	120					57T	"	
82	珠洲	壺	180				静止糸切り痕	107T	"	
83	土師質土器	灯明皿	90					111T	16世紀	
84	越中瀬戸	皿		44			鉄輪 削り出し高台 見込み印花	61T	17世紀	
85	越中瀬戸	鉢		110			鉄輪	117T	"	
86	越中瀬戸	碗		50			灰釉	51T	"	
87	瀬戸美濃	眼					灰釉 天目茶碗	109T	"	
88	唐津	皿		40			蛇口輪剥ぎ	51T	18世紀	
89	瓦輪塔	水輪					梵字「パン」側邊が壺形	53T	16世紀	

表5 本江東遺跡試掘調査遺物一覧表(2)



1 調査前近景



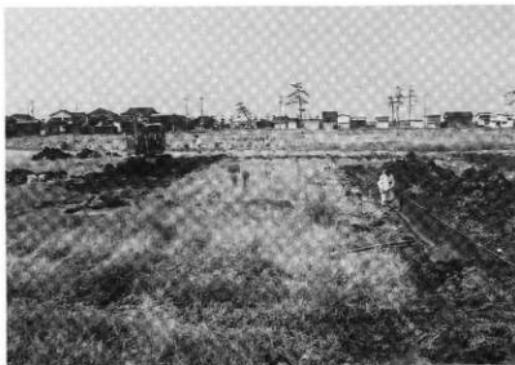
2 調査前近景



3 調査風景



1 調査風景



2 調査風景



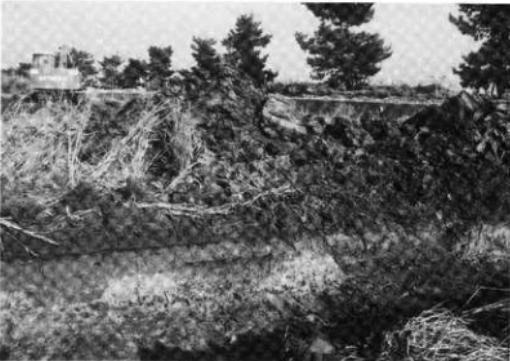
3 調査風景



1 調査風景

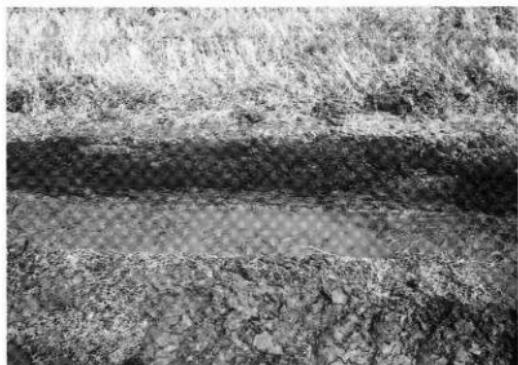


2 7トレンチ南から



3 13トレンチ北側断面

1 40トレンチ東側断面



2 43トレンチ南から

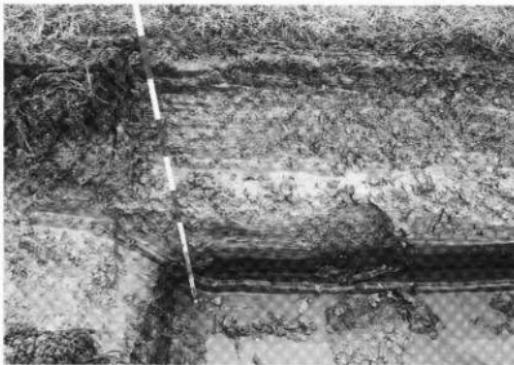


3 43トレンチ
遺構検出状況





1 63トレンチ南から



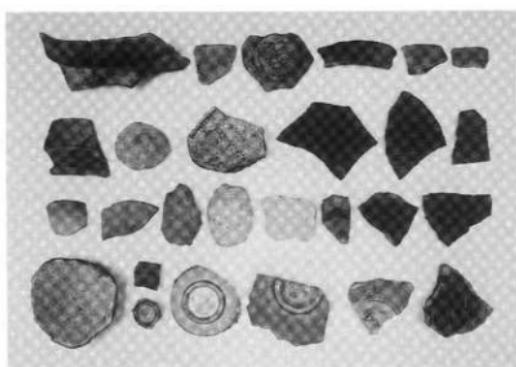
2 63トレンチ東側断面



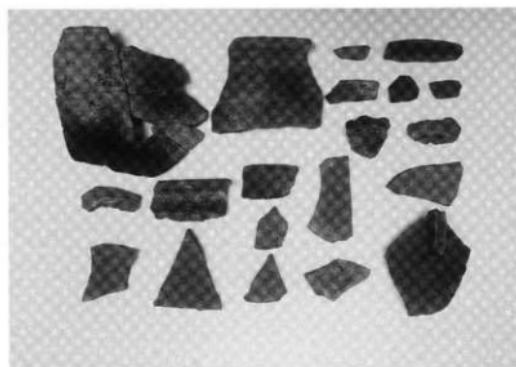
3 115トレンチ南から



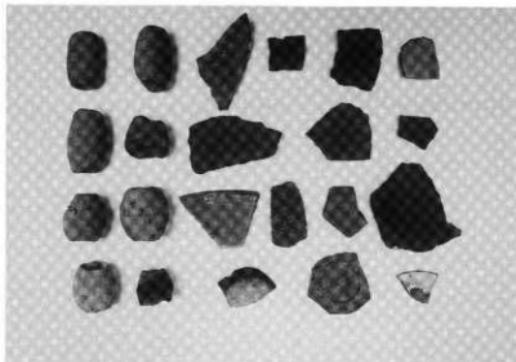
1 埋め戻し後



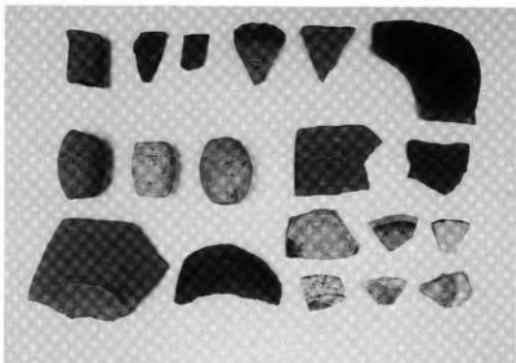
2 第5図遺物



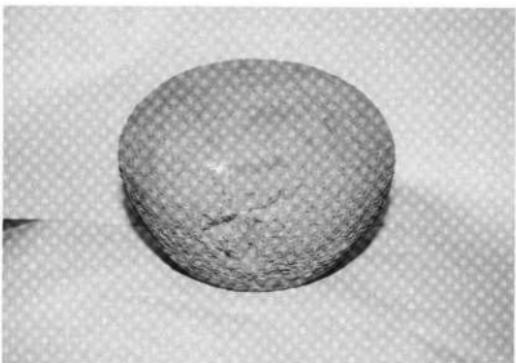
3 第6図遺物



1 第7回遺物



2 第8回遺物



3 第8回五輪塔水輪

報告書抄録

ふりがな	とやまけんしんみなとし しないいせきはつくつちょうきかいよう							
書名	富山県新湊市 市内遺跡発掘調査概要							
編著者名	宗 融子							
編集機関	新湊市教育委員会							
所在地	〒934-8555 富山県新湊市本町二丁目10番30号 TEL 0766-82-8312							
発行機関	新湊市教育委員会							
所在地	〒934-8555 富山県新湊市本町二丁目10番30号 TEL 0766-82-8312							
発行年月日	西暦2000年3月31日							
ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	ユーフ		北緯	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
市内遺跡	富山県 新湊市本江	市町村 016203	遺跡番号 203054	36°45'04"	137°10'27"	19990608 19990922	5.6ha	上地区面 整理事業
所取遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
本江東遺跡	散布地	弥生 ~ 近世		溝 上坑		赤生土錐 土師器 須恵器 珠洲焼 近世陶磁器		

平成12年3月31日発行

富山県 新湊市内遺跡発掘調査概要

編集 新湊市教育委員会
発行 新湊市教育委員会
富山県新湊市本町二丁目10番30号
印刷 リタニグチ印刷

